学校昼食を考えるミニフォ

r t3」を開催しまし

8月2日、

市民アンケート結果 * お子さんは学校で主に 中学校の昼食で 番改善してほしい事は何ですか? どんな昼食をとっていますか 回答者637人 回答者396人 業者弁当3% ハマ弁 市販のパンやおにぎり ハマ弁の当日注文が出来るようにして欲しい 温かいハマ弁を提供してほしい ハマ弁に添加物、化学調味料を使用しないでほしい ハマ弁を安くしてほしい 業者弁当を安くしてほしい 給食を導入してほしい 昼食の時間をもっと長くして欲しい 夏場の家庭弁当の腐敗防止策をとってほしい *神奈川ネットも参加する生活クラブ運動グループ横はエリア連携協議会が実施したアンケ

という問いに対し

換をすると、

様々な声が聞かれます。

現状を共有し意見交

選択式の良さを認める

お昼の用意がで

あらため

選択肢のうち62%が給食を望んで ブ運動グループ横浜エリア連携協議 神奈川ネッ したアンケー トも参加する生活クラ では、 8つの 事

あります。こうした利点

学校も 当は当日注文が可能で、 あってか喫食率は3・79%。 各校が様々な方式で昼食を提供する 全校開始となったハマ弁、 者弁当とを選択する方式が取 材にこだわるお弁当を購入できる 横浜市では、 喫食率2・1%。 給食は導入されていません。 かと課題が指摘されるハマ 家庭弁当と昨年か 方、業者弁 地域ごとに 以前か 弁 5 5





「政務活動費」を公開

政策形成活動の充実と政策提言に生かします

家庭弁当持参には、

また、猛暑が続く中、

の

リスクが伴

い ま 腐

夏場の腐敗防止 要だとい

う意

指摘する意見など。 弁の使い勝手の悪さを も給食を望む意見、

昼

食時間の短さや、

ムム

要性から、

ハマ弁より

きない生徒の支援の必

神奈川ネットでは、2007年度から毎年、政務活動費の公開を行っています。 7月24日には、2017年度に交付された政務活動費について、青木マキ横 浜市議を始めとし所属議員の収支報告書や調査報告、政策提案をまとめた 報告書を公開しました。市が尾事務所にて再度市民公開を実施します。

青木マキ 政務活動費市民公開

日時:2018年10月7日(日)14:00~

場所:ネット青葉事務所

声を活かした現実的な

ね

生徒・

保護者の

こうした意見交換を

(青葉区市が尾町 1151-1 ライオンズマンション市が尾第 2-203) お申込:お名前・ご連絡先を明記の上、下記までお送りください。 E-mail: net-aoba@nifty.com FAX: 045-508-9474



代ついて、様々な面性奈川ネットでは、 を行 な面か 四から比較. 各地域のi

¥し、意見な)政務活動講

市民がまちづくりの主人公

5つの政治姿勢

3 2 1 政治と選挙をおこないますカンバとボランティアで 議員は2期8年で交代します ミニフォーラムを開きます 政治への寄付をひろげます 活動を広く公開します んだなと思ったら

3つの政治理念

2 3 政治への参加をひろげます 市民民主主義をそだてます 生活者の政治をすすめます

てり践せ葉神い・にすは奈 います。います。といます。といます。といまするのではなればなり、またればないではないます。 なく、 政治家 - ワーク ちや と政 を治市に運 めを民お動 ざつのま・ く実か青

共に暮らすまちへ。 「まち保育」学習会

吉野歌代子

中学校昼食 を考えるミニフォーラム

改善してほしいことは?

横浜市立大学の三 輪律江准教授を迎え た「まち保育」学習 会(生活クラブ運動 グループ横浜エリア 連携協議会主催)に 参加しました。

三輪さんは、建築・ 都市計画が専門で す。保育の専門では ありませんが、だか らこそまちづくりの

視点に立った「まち保育」が提案さ れたのだと思います。

「まち保育」とは、

まちにある様々な資源を保育に活用し、 まちでの出会いをどんどんつないで、 関係性を広げていくこと、子どもを囲 い込まず、場や機会を開き、身近な地 域社会と一緒になって、まちで子ども が育っていく土壌づくりをする。

これまでの開発型の都市計画は、 後の少子化・高齢化を前提とせず、 職住分離も進む結果となりました。 しかし人口減少や家族構成の変化に より、子どもや子育て中の親と他者 が接する機会は損なわれつつありま

一方で保育園や学校は、子どもの 声や運動場の砂埃、保護者の送迎車 設とも言われる時代になってしまい ばと神経を尖らせ、疲れ切っている 母親もいます。

また、高齢者の社会参画や地域住 いくものだと感じました。



民の交流促進といったニーズが高ま り、新しいまちづくりの視点として 「まち保育」といった概念も注目さ れる時代となりました。

「まち保育」の取り組みの中で私 が素敵だなと思ったのは、保育施設 の子どもたちが園外活動で近所の道 を散歩して様々なお気に入りを見つ ける「おさんぽマップワークショッ プ」です。さらに、そのお気に入り を「ありがとうカード」で地域の大 人たちに返していきます。保育園に 通う知らない子どもが、自分のまち の○○ちゃんになる瞬間です。地域 に知っている大人がいるだけで、子 どももその親も子育てを心強く思え る双方向の関係が築かれます。

乳幼児だけでなく、学齢期の子ど による交通量増加などから、迷惑施 も、高齢者、障がい者と繋がりが広 がれば、災害時にも貴重な手がかり ました。子どもを静かにさせなけれになります。「まち保育」は、あら ゆる人がお互いの存在を認め合いな がら共に暮らせるまちへと繋がって